

『愛人／ラマン』のマルグリット・デュラスと
38歳年下の青年との愛の讃歌、
そして、実話。

女優ジャンヌ・モロー
生涯の代表作

あなたは天才作家、そして、年老いたエゴイスト。
でも、僕の人生を捨てさせるほど魅力的だった…

デュラス

愛の最終章

2001年ヴェネチア映画祭クローゼン作品

出演：ジャンヌ・モロー、エーメリック・ドゥマリニー 原作：ジャン・アンドレア「デュラス、あなたは僕を（本当に）愛していたのですか。」（河出書房新社） 監修・脚本：ジョゼ・ダヤン 台詞協力：ギン・アンドレア、マレン・セル、シル・トラン Cet Amour-là
音楽：アンジェロ・バタラマンティ 撮影：カロリーヌ・シャンブティエ 美術：シルヴィ・フェネック 衣装：ミレン・ピカ 録音：ミシェル・カラ 編集：アンヌ・ボワッセル 音響：ムラッド・ルアンシ 音響ミキサー：ジャン＝ポール・ルビリエ
プロダクション：マナー・ジャン＝ポール・バタジア 製作総指揮：クリスティアン・ゴズラン プロデューサー：アラン・サルド 共同製作：ル・フィルムズ・アラン・サルド、アルチ・フランス・シネマ 共同提供：カナル・ブルス、ソフィカ・ストゥディオ・イマージュ
2001年／フランス映画／1時間40分 ©Les Films Alain Sarde - Arte France Cinema サウンドトラック：BMGファンハウス 後援：フランス大使館 協賛：アクサ生命 配給：コムストック www.comstock.co.jp

息づかい、まなざし、そして微笑み。
少女の頃、憧れたジャンヌ・モローの
確かな存在と美しさに圧倒された。

竹下景子 (女優)

青年と老女流作家。
実はダメな男と、もっとダメな女。
底無しの愛が、せつなく染みた。

荻野アンナ (作家)

ジャンヌ・モローの存在は心臓が止まるほど感動的だ。
そして、自我ゆえの戦いを終え、死んだデュラスは
私の心の記念碑になった。

秋吉久美子 (女優)

若い恋人をみつめる
ジャンヌ・モローの笑顔、
優しさと、寂しさがまざりあい、美しい。

吉行和子 (女優)



(順不同、敬称略)

デュラス 愛の最終章



20世紀に名を残す二人の女の出逢いは 21世紀に賞賛される作品を生み出した!

傲慢で神経質でセックスとアルコールを愛し、96年にその波瀾万丈な人生の幕を閉じた大作家マルグリット・デュラス。そして、誇り高く、自信家で数々の男性遍歴を重ねた(ルイ・マル、トリュフォー、カルダンとの恋)大女優ジャンヌ・モロー。この二人の競演が傑作を生み出した。ヌーベル・ヴァーグのミューズとして、そして数々の名演でアカデミー賞特別栄誉章を受賞したモロー。しかし、本作はモローが大女優だから素晴らしい作品なのではなく、彼女自身が生き抜いた74年の人生と、彼女が演じた『死刑台のエレベーター』『恋人たち』『突然炎のごとく』のヒロインを重ねたからこそ、作家、そして誰よりも自由でスキャンダラスなデュラスという女性を演じることができたのだ。物を書く女の自我と我儘、醜悪と童女のいじらしさをなぞるのでなく、ここまで表現できるのは、現在74歳の素晴らしい人生を過ごしたジャンヌ・モローしかないといえるだろう。彼女が口ずさむ“カプリ・セ・フィニ”“バラ色の人生”などのシャンソンも聞き逃さない。これはモローの最高主演作!

★1914年、ベトナムに生まれ、教師の母を持ち、中国人の恋人と愛を交わした早熟な少女、デュラス。彼女には恐怖のどん底に突き落とした美しい兄、近親相姦さえ疑わせるほどかわいがった弟がいた。20歳で始めて母国フランスに帰国。

★1980年夏、誰よりも自由でスキャンダルな大作家として、映画監督として既に地位を確立していた66歳のデュラス。しかし、彼女はこの10年間、何も執筆していなかった。大学院生で28歳、デュラスの著を愛読し、5年間彼女に手紙を送りつづけたヤン・アンドレア。二人は出会い、次の日から一緒に暮らし始める。

★その後、作品を精力的に発表し、70歳で「愛人」がゴンクール賞を受賞。彼女は遂に伝説の作家となった。

★1996年、81歳でデュラス死去。ヤンはそのとき43歳無職。16年間彼女だけを愛した。

★デュラスの死後3年、「私が死んだら二人の愛をあなたに書いて欲しい」というデュラスの遺言を守り、ヤンは1冊の本「デュラス、あなたは僕を(本当に)愛していたのですか。」(河出書房新社刊)を書き上げた……。

★そして、女優ジャンヌ・モローの切望によって本作「デュラス 愛の最終章」が誕生した。



実在のデュラスとヤン 写真:「デュラス『愛の生涯』」より

出演:ジャンヌ・モロー、エーメリック・ドゥマリニー 原作:ヤン・アンドレア「デュラス、あなたは僕を(本当に)愛していたのですか。」(河出書房新社) 監督・脚本:ジョゼ・ダヤン
©2001 Les Films Alain Sarde Arte France Cinema サウンドトラック:BMGファンハウス 後援:フランス大使館 協賛:アクサ生命 配給:コムストック www.comstock.co.jp

1月25日 (土) より愛のロードショー!

自由席・各回完全入替制

連日 12:15/14:20/16:25/18:30

2/15 (土) ~ 2/21 (金) モーニングショーAM10:05~上映
来場者アンケートにお答えいただいたお客様の中から抽選で
ジャンヌ・モローのサイン入りポスターをプレゼント!!

当日料金 一般1800円/学生1500円/シニア1000円

梅田スカイビル(空中庭園)クワイースト3F

シネ・リーブル梅田

CINE LIBRE UMEDA

06・6440・5930

www.nikkatsu.com